

	観光地としての環境整備施策	観光事業者の事業継続支援施策	誘客等観光振興施策
4月			
5月	①緊急事態宣言下の観光関連公共施設への休業補償【市】 (指定管理者に対し、休業要請に伴う補償金を交付)	②休業要請対象事業者支援補助金【市】 (個人事業主10万円、法人20万円(申請:423件))	
6月	③海水浴場感染防止対策ガイドライン策定【市-公社-商工会】 (全国で最も厳格な水準で策定⇒全15か所中、12か所が海水浴場開設)	④みんなのありがとうクーポンを世帯配布【市】 (全市民に1千円券/人。市内消費喚起(利用率91%)) ⑤教材貸与事業【市】 (雇用調整助成金の教育訓練を実施する事業者への支援。(2件)) ⑥新型コロナウイルス対策内需拡大促進事業補助金【市】 (30万円以下(10/10)、30～75万円(2/3)、75万円以上(1/2)) (申請:1,038件) ⑦公式HPに新型コロナ関連情報集約ページを開設【観光公社】 (国府市の補助金・助成金・融資等の支援策、各種ガイドライン等を掲載)	
7月	⑧宿泊施設感染防止対策ガイドラインの策定【市・公社】 (観光公社では、啓発グッズを作成し事業者へ提供)	⑨事業継続支援特別給付金【市】 (国の持続化給付金対象外の30～50%未満の事業所への支援(55件))	⑩泊まって応援Go-localキャンペーン【観光公社】 (6/19～8/31、市内の宿3千円宿泊割引、572人が利用)
8月	⑪海水浴場ガイドライン遵守の必要経費を支援【市】 (啓発係、場内点検係、パトロール員人件費、感染防止資材等の配布)	⑫Go Toトラベルキャンペーンにおける「第三者機関」に登録【観光公社】 (海の京都DMOの「第三者機関」登録により、公社会員宿泊施設5軒が本キャンペーンに参加)	
9月	⑬安全で安心な市民生活と観光立市コロナ対策条例制定【市】 (誹謗中傷等差別行為の禁止、観光客にも感染予防の努力義務、観光公社では、啓発用ワッペンやピクトグラムを作成し事業者へ提供)		⑭ふるさと旅行券「秋旅」【市・公社】 (9/1～10/31、5千円の宿泊券を2.5千円で販売、5千枚が25日間で完売)
10月			⑮マイクロリズム広報「京都リビング」掲載【市・公社】 (京都市以南49万3千部に配布、府内からの誘客を促進)
11月			⑯ふるさと旅行券「冬旅」【市・公社】 (11/6～3/20、5千円の宿泊券を2500円で販売、1万枚が3分で完売)
12月		⑰みんなでささえ愛クーポンを世帯配布【市】 (全市民に500円券×2枚/人。1000円以上の買物で使用可能。市内消費喚起) ⑱「安全と安心の人材の確保」支援事業【市・公社】 “おてつたび”若者×お宿をマッチング。抗体検査等の費用を助成(100人分) ⑲公社会員のFacebook投稿のシェア応援【観光公社】 (約3,900人のフォロワーを有する公社Facebookで、コロナ禍で頑張るお宿等の情報を紹介(9件))	
1月		⑳事業所等感染症対策緊急支援補助金【市】 (上限/1事業所:従業員数×5000円、100人以上の事業所は50万円(220件) R3.2月末現在 ※申請R3.3.31まで)	
2月	㉑株ANA総研社員を観光公社へ派遣【市】 (包括連携協定締結(3/25)、首都圏からの誘客とインバウンド準備)		
3月		㉒1～2月のキャンセル支援「宿泊業緊急支援給付金」【市】 (前年比30%以上落込み対象、個人30万円、法人60万円給付)	㉓GoTo再開後の誘客促進「観光地づくりチャレンジ支援事業」補助金【市】 (宿、飲食、関連業者の共同申請。10万円/者、最大100万円) ㉔マイクロリズム広報「京都リビング」掲載【市・公社】 (京都市以南49万3千部に配布、“春の観光”プロモーション)